- 1 学年・教科 小学校3年 社会、特別活動(学級活動)
- 2 テーマ 「身の回りのはたらく人たちから学ぶ」

3 指導計画

n 1. 88	ねらい	24.7万尺尺			章	平価
時間		学習活動	知	思	態	評価方法
1	地域の販売の仕事につ	販売店に見学に行くとき			0	行動観察
	いて、主体的に疑問を持	に調べたいこと、質問し				
	ち、問題解決しようとす	たいことを考える。〈社				
	る態度を養う。	会〉				
2	見学・調査して得た情報	販売店を見学したり、店	\circ			ワークシー
5	をわかりやすくまとめ	員さんに質問したりして				F
3	られるようにする。	情報をまとめる。〈社会〉				
	販売に携わっている	販売店を見学して得た情		\circ		ワークシー
4	人々がどのような工夫	報をもとに、販売店で工				ト、発表
	をしているか考え、表現	夫していることを考え				
	できるようにする。	る。〈社会〉				
		※「地域の生産の仕事(農				
		家や工場等)」「地域の				
5		安全を守る働き(消防				
		署や警察署等)」につい				
		て学習する。〈社会〉				
社		(事前指導)				
会の学習後		「社会で、はたらく人た				
		ちについて学習した後の				
		感想」「学級での係活動を				
		振り返るアンケート」を				
本時		実施。				

	よりよく生活するため	学級の係活動について振	\bigcirc	ワークシー
414	の課題について考え、解	り返り、今後の自分の目		١
社会	決のために話し合い、自	標を設定する。〈特活:学		
の 学	分に合った解決方法を	級活動(3)〉		
子習	意思決定することがで			
後	きるようにする。			
本時		(事後指導)		
		自分の立てた目標につい		
		て、実践を振り返る。		

4 期待できる基礎的・汎用的能力

- (1) 自己理解・自己管理能力(自己の役割の理解、前向きに考える力)【自】
- (2) 課題対応能力 (課題発見、計画立案、情報の理解・選択・処理) 【課】
- (3) キャリアプランニング能力(多様性の理解、将来設計)【キ】

★小・中・高接続のポイント

- ・小学校では、様々な仕事について見学したり体験したりするが、中学校では、職場体験等でより本格的に体験していくことになる。小学校の時にどのような職業について見学したり体験したりしているか、中学校側がきちんと把握した上で計画すると、より効果的な職場体験になると考えられる。キャリア・パスポートなども活用して、小中の連携を図りたい。
- ・学習指導要領では、キャリア教育の視点からの小・中・高等学校のつながりが明確になるように、特別活動の中に「学級活動(3)」が設けられ、三つに分類・整理されている。小・中・高等学校それぞれで、異校種での「学級活動(3)」の内容を把握することが大切。

5 本時の目標

(1) よりよく生活するための課題について考え、解決のために話し合い、自分に合った解決方法を意思決定することができるようにする。(思考・判断・表現)

6 本時の指導(社会の学習後)

	時	ンとコファイチル	指導上の留意点	評価			平価
	配	学習活動	★キャリア教育の視点	知	思	態	評価方法
導	8	・「社会で、はたらく人	・「様々な工夫をしてい				
入	分	たちについて学習し	る」「多くの人が協力				
		た後の感想」につい	している」といった、				
		て、どのようなものが	学級の中でも重要な				
		あったか確認する。	内容を取り上げる。				
		・「学級での係活動を振					
		り返るアンケート」の					
		結果を示し、どのよう					
		な課題があるか確認					
		する。					
		学級の係活動について	 振り返り、今後の自分の				
		目標を設定しよう。					
展	7	・係ごとに集まり、アン	★自分たちの活動を振				
開	分	ケートをもとに現在	り返り、課題を明確に				
		の課題を確認する。	することができる。				
			【課】				
	10	・課題を解決するため	・「原因」と、解決するた		0		ワークシー
	分	にはどのようなこと	めの「具体的な方法」				F
		をすればいいか、係ご	に分けて考えさせる。				
		とに話し合う。					
	12	・係ごとに話し合った	・自分たちとは違う考え		0		発表
	分	結果を発表し合う。	で、参考になると思っ				
			たものをワークシー				
			トに記録させる。				

ま	5	・今後の係活動につい	★他者の意見を参考に	\bigcirc	ワークシー
ک	分	て、自分の目標を設定	しながら、自分に合っ		١
め		する。	た解決方法を意思決		
			定することができる		
			か。【自】		
	3	・設定した目標を発表			
	分	する。			

★その他

- ・販売店に見学に行く計画を例として挙げたが、学校や地域の実情に合わせて、農家 や工場、消防署や警察署に見学に行く計画も考えられる。
- ・小学校4年では、「人々の健康や生活環境を支える事業(飲料水・電気・ガスの供給する事業、廃棄物を処理する事業)」を学習した後に、学級活動(3)で自分の役割について改めて考えさせることも有効だと考えられる。